

具体策：1 一流のスポーツや文化、芸術を育む環境づくり

① 県内の学校のスポーツ・文化教育等をサポートする「スポーツ・アート・キャリア教育応援企業」登録制度 および表彰制度を創設

現状と課題(R6.2月現在)

現状

課題

- 学校の内外を問わず、小中高生の年代に対しては、様々な芸術文化分野で文化体験や創造の促進を図っている。
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を推進するために、部活動を指導できる人員の確保が急務となっている。

- 多忙な教育現場とのニーズのすりあわせや、学校における外部の指導者等の受け入れ体制の構築に時間を要する。
- 企業が学校におけるスポーツ・芸術文化活動のサポートに参加しやすい仕組みづくりが必要である。

R5年度までの取組

- 地域部活動検討委員会により、地域との連携方法や支援環境、指導者育成等について協議
- 部活動応援企業登録制度の創設・募集及び表彰制度の創設(見込)
- 市町村の実践研究及び実証事業の事例及び応援企業の協力事例の公表

R6年度の取組

- 部活動応援企業登録制度及び応援企業表彰(仮称)による部活動や地域クラブ活動への支援の充実
 - 実証事業における成果と課題の共有と企業等との連携による好事例の情報提供
 - 地域部活動検討委員会において、新たな課題を踏まえた地域への支援策等について協議
- 【地域部活動関連事業 1億4,877万円】

ロードマップ

取組内容

- 学校におけるスポーツ・芸術文化活動への支援を充実させるために、部活動応援企業登録・表彰制度を創設し、顕著な功績のあった企業を表彰する。
- 教育現場の指導者不足と教員の働き方改革を併せて進めるために、地域部活動検討委員会を設置し、地域ぐるみの部活動支援環境の構築について協議する。

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
部活動応援企業登録・表彰制度		地域部活動に係る調査	企業登録制度の検討・創設	応援企業の募集開始・登録数の増加	表彰制度の創設・運用開始	県、県教委 市町村、市町村教委 県スポ協、各競技団体
地域部活動関連		地域部活動のあり方検討委員会	地域部活動検討委員会・富山の実践事例の提示	地域部活動検討委員会 市町村支援の検討と情報共有		県内企業、県内大学 県内プロチーム 県内アーティスト 等
			休日部活動の段階的・地域移行の実践研究	実証事業		

具体策：1 一流のスポーツや文化、芸術を育む環境づくり

② 伝統工芸品に関わる人材育成から輸出の振興に至る一気通貫型の「伝統工芸文化継承・産業振興プログラム」の実施

現状と課題(R6.2月現在)

現状

- 景気の動向や生活様式の変化、安価な輸入品の増加等により、ピーク時に比べ販売額や事業所・従事者数が3割程度に大きく減少
→技術継承・人材育成及び新商品開発や新たな販路の開拓等が課題
〔販売額〕H2:433億円 → R4:106億円(約24%)
〔事業所〕S62:868 → R4:343(約40%)
〔従事者〕S63:4,971人 → R4:1,276人(約26%)

課題

- 新商品開発や新分野への参入、海外を含めた事業展開や魅力発信の充実等による新たな需要の獲得
- 伝統技術の継承、デザインやマーケティング等の体系的な修得などの人材育成、職人の技術向上と活躍チャンスの提供、人材確保
- 産地ごとの課題やニーズに沿った施策の展開や、国や地元市、外部機関等との連携強化による支援体制の構築

R5年度までの取組

- R3年度に作成したプログラムに基づき、必要な事業を実施
【伝統工芸ミライ創造事業 1,016万円】 ※ 10事業者・グループが新商品開発等の研修、伴走支援事業に参加
【とやま伝統工芸プロモーション戦略事業 1,050万円】 ※ 11月にプロモーション動画(作品編、職人編)を公開
【とやま産品REAL&EC展示販売事業in China 2,300万円】 ※ 中国北京での展示会及び越境EC事業を実施

R6年度の取組

- R3年度に作成したプログラムに基づき、引き続き必要な事業を実施
【伝統工芸ミライ創造事業 930万円】 ※ R5に参加した事業者・グループの新商品等のプロモーションを伴走支援
【伝統工芸品と食との連携プロモーション事業 350万円】 ※ 食分野に関わる伝統工芸品の飲食店での普及促進

ロードマップ

取組内容

- 「伝統工芸文化継承・産業振興プログラム」に基づき、人材育成から輸出の振興まで、各段階に応じた支援を実施する(伝統工芸ミライ創造事業、とやま産品REAL&EC展示販売事業in China、とやま伝統工芸プロモーション戦略事業 等)。

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
伝統工芸文化継承・産業振興プログラム	【現状】個別施策の実施 技術継承 新商品開発 販路開拓 等	■ 施策・課題の整理 第1回KOGEMIRAI会議(6/11) 県内事例視察会(7/16) 企画部会(8/18) 第2回会議(11/5) 第3回会議(3月)	■ プログラムとしての実施(段階に応じた一気通貫型の支援) ①技術継承・人材育成(技術向上)、確保(活躍チャンスの提供) ②新商品開発(新分野参入、異業種連携等) ③販路開拓・魅力発信(見本市出展、海外展開・輸出促進)			産地組合 事業者 関係団体 県、地元市 国、外部機関

具体策：2 官民連携による障がい者雇用の推進と特別支援学校のさらなる就職率アップ

60

① 障がい者の安定的な雇用の確保を目的とする、富山版「特例子会社・特定組合等設立支援補助制度」の創設

現状と課題(R6.2月現在)

現状

課題

- R6.2月現在、県内企業で特例子会社を設立されているのは6社
- R5.6月の県内民間企業の雇用障害者数(4,752.0人)、障害者雇用率(2.32%)はともに過去最高となったが、障害者雇用率は全国38位の水準に低迷。

- R5.6月の県内民間企業の障害者雇用率は、全国38位と低い水準に留まっているため、障害者雇用率の上昇(※)を図る必要がある。
- ※ 全国平均以上を目指す

R5年度までの取組

- 特例子会社、特定組合等の設立に要する経費に対し補助を実施【補助限度額 300万円/1事業主】
- 県内企業の障害者雇用促進のため、企業を対象に障害者雇用実務講座を充実するとともに、新たに雇用ゼロ企業セミナーを開催し、国の指導と一体的に支援【350万円】

R6年度の取組

- 特例子会社、特定組合等の設立に要する経費に対し補助を実施【補助限度額 300万円/1事業主】
- 県内企業の障害者雇用促進のため、引き続き、企業を対象に障害者雇用セミナーを開催し、国の指導と一体的に支援【350万円】

ロードマップ

取組内容

- 「特例子会社等設立支援事業」により、特例子会社等の設立プラン策定に要する経費や、会社設立の手続き等に要する経費などについて補助
- 富山労働局等関係機関と連携し、県内企業に対して障害者就業支援施策(※)の周知・活用促進に取り組み、障害者雇用の推進について普及・啓発を図る。※ 障害者の一般就労トータルサポート事業、障害者雇用実務講座・雇用ゼロ企業セミナー等

	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
補助制度の運用	補助制度の運用				県
就業支援施策の周知・活用促進	障がい者就業支援施策の周知・活用促進				県関係機関

具体策：2 官民連携による障がい者雇用の推進と特別支援学校のさらなる就職率アップ

② 富山版「特別支援教育将来構想会議(仮称)」を設置し、県内外の有識者・実務家、特別支援学校に通う子弟・保護者等により、令和時代の特別支援学校の教育・就労支援のあり方を検討

現状と課題(R6.2月現在)

現状

課題

- 特別な教育的支援が必要な子どもの増加
- 子どもの障害の多様化
- ICT環境の変化や新型コロナウイルス感染症の蔓延等 社会状況の変化

- 障害のある子どもの学びの場の整備
- 関係者の連携強化
- 教員の専門性向上
- ICT等を活用した指導の充実
- 就労支援の充実
- 施設設備、教育環境の整備

R5年度までの取組

- 企業等と特別支援学校が連携し、人型ロボットやVRゴーグル等の最先端ICT機器を使った授業を実践
- 特別支援学校就労応援団とやま登録企業を活用した学校見学・職場見学の実施や小学部仕事体験の実施
- 特別支援教育に関するオンデマンド研修コンテンツの作成・活用
- インクルーシブ教育フォーラムの開催や専門家の巡回等による特別支援教育の理解啓発

R6年度の取組

- 新たに特別支援学校地域就労支援アドバイザーを配置し、特別支援学校就労応援団とやま協力企業等の業務内容の洗い出しと生徒個々の障害特性に応じた就労を支援
特別支援学校小・中・高等部と切れ目ない仕事体験の実施【特別支援学校就労応援事業 738万円】
- 特別支援教育フォーラムの開催や特別支援教育コーディネーターリーダーの養成等による共生社会の実現に向けた特別支援教育の理解啓発【SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 360万円】

ロードマップ

取組内容

- 「富山県特別支援教育将来構想検討会」を設置し、特別支援教育の将来構想を検討、方針を決定
- 将来構想に基づいて施策計画を作成し、関連事業等の取組を実行

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
特別支援教育将来構想の検討		会議概要決定 委員選定	検討会開催 将来構想策定			県教育委員会
施策への反映、関連事業等の実施				施策(実施計画)作成、事業等計画、予算要求	関連事業等の取組を実行、見直し	県教育委員会
					評価(委員会)	

具体策：3 女性・民間人材の積極的な登用による多様性の推進

62 ① 富山県の女性職員の管理職への登用目標を25%(2025年)にまで引き上げ

現状と課題(R6.2月現在)

現状

- R5.4時点の登用率は18.8%(91人/484人)、全国9位

(推移) H15:4.8% H20:4.9% H25:7.1% H30:13.6% R4:17.1%

課題

- 女性職員の管理職を今後2年間で30人(※)増やす必要(33%増)
※管理職員数が現在と同じ場合
- これまで以上に女性職員における管理職候補者の育成が必要
- 女性職員にとって、より働きやすい環境整備が必要

R5年度までの取組

- 女性管理職候補者の育成及び登用

R6年度の取組

- 女性管理職候補者の育成及び登用

ロードマップ

- 女性管理職候補者の育成及び登用

取組内容

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
女性職員の積極的な登用	女性管理職候補者の育成及び登用					県
	職務経験者採用・人事交流					県

具体策：3 女性・民間人材の積極的な登用による多様性の推進

63 ② 副知事3人体制、うち1人は女性副知事とし、女性活躍の推進等を担当

現状と課題(R6.2月現在)

現 状

- 他の都道府県の状況は次のとおり
 4人：2(東京、愛知)
 3人：6(北海道、埼玉、神奈川、京都、大阪、福岡)
 2人：30(富山、石川、福井、新潟、岐阜など)
 1人：9(山形、山梨、長野、和歌山、鳥取、島根など)

課 題

- 富山県副知事定数条例の改正が必要
- 副知事の人選

R5年度までの取組

- 副知事2人体制の効果も見極めながら、今後ふさわしい体制を検討

R6年度の取組

- 副知事2人体制の効果も見極めながら、今後ふさわしい体制を検討

ロードマップ

取組内容

- 副知事複数体制の方針決定(人数、時期など)
- 副知事の人選
- 副知事2人体制の効果も見極めながら、今後ふさわしい体制を検討

項目	R2.11月～R3.1月	2月	3月	4月	取組主体
方針決定・人選	方針決定・人選		選任の議会同意		県
条例改正		2月定例会にて議決			県

具体策：3 女性・民間人材の積極的な登用による多様性の推進

64

③ 富山県の民間人の任期付き任用制度の運用見直し

現状と課題(R6.2月現在)

現 状

- 専門的知見を有する任期付職員の任用状況
薬事総合研究開発セ創薬研究開発センター長、
産業技術研究開発セ所長、くすりコンソーシアム コーディネーター、
衛生研究所長、危機管理調整主幹

課 題

- 民間人の知見が活用できる業務のさらなる掘り起こし

R5年度までの取組

- 業務の掘り起こし、活用分野の検討・決定、公募の実施
- 任期付職員以外で、地域交通、デジタル化推進、公民連携の分野で民間出身者を起用

R6年度の取組

- 業務の掘り起こし、活用分野の検討・決定、公募の実施
- 民間出身者を起用

ロードマップ

取組内容

- 業務の掘り起こし、活用分野の検討・決定
- 採用時の処遇の検討・決定
- 選考、採用、配置

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
活用分野の検討	活用分野の検討					県
処遇の検討	処遇の検討					県
選考、採用、配置	選考、採用、配置					県

具体策：3 女性・民間人材の積極的な登用による多様性の推進

④ 就職氷河期世代の県庁採用を強化、県内市町村による採用を支援

65

現状と課題(R6.2月現在)

現状

- ・ 県では、R2～5年度に、就職氷河期世代を対象とした採用試験を実施（R5：デジタル、農業、林業、総合土木、建築で合格）
- ・ 市町村では、R3年度は2市（富山、砺波）、R4年度及びR5年度は1市（富山）で就職氷河期世代が対象の採用試験を実施

課題

- ・ 県では、一般事務のほか技術職でも募集しているが、申込者が少ないことや、専門性が必要となることから、採用に結びつく例が少ない。
- ・ 就職氷河期世代の採用試験は各市町村の判断で実施（全市町村では実施されていない。）

R5年度までの取組

- 県の就職氷河期世代対象試験において、R5～6年度の継続及び実施方法を見直し（住所要件撤廃）、市町村の具体的なニーズに対する支援を検討・実施

R6年度の取組

- 県の採用試験で、受験者及び採用数確保のため、周知に努めるとともに、市町村の具体的なニーズに対する支援を検討・実施

ロードマップ

取組内容

- 就職氷河期世代対象の採用試験を通じ、就職氷河期世代を採用
- 市町村の具体的なニーズを聞いたうえで、必要な支援を適宜検討・実施

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
実施方法検討	人事委員会協議	職種拡大	人事委員会協議	職種拡大		県
採用試験実施		試験実施		採用、勤務		県
採用			試験実施	採用、勤務		県

具体策：3 女性・民間人材の積極的な登用による多様性の推進

66 ⑤ SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた取組みを推進、県の各種行政計画に反映

現状と課題(R6.2月現在)

現状

- 「環日本海地域をリードする『環境・エネルギー先端県とやま』」をテーマに国の「SDGs未来都市」に選定、同計画に基づき施策を展開
- 県民へのSDGsの普及啓発及び企業・団体等のSDGsの取組みを広く発信し、市町村、企業・団体等の連携を推進

課題

- SDGs未来都市計画に沿った施策の着実な実施
- 「富山県SDGs宣言」企業・団体等の応募増加への取組み、宣言企業・団体間の連携の促進
- 県の各施策へのSDGs理念の反映、SDGsの達成に向けた取組みの推進

R5年度までの取組

- SDGs宣言の募集、SDGs連携推進フォーラム・ワークショップの開催、宣言企業等によるSDGs推進
 <実績>宣言企業440社、<実績(R5)>フォーラム:約50名参加、ワークショップ:計3回開催、約50名参加
- カーボンニュートラルの実現に向けて「富山県カーボンニュートラル戦略」を策定し、取組みを推進
- 脱炭素経営のモデル企業を育成するためのセミナー及び検討会を実施 <実績(R5)>セミナー:1回 76名、検討会:8回 10社
- 県の各種計画にSDGsの理念の記載、目標を設定

R6年度の取組

- SDGs宣言企業・団体間の更なる連携を促進するためのフォーラムの開催【県民総参加のSDGs連携促進事業760万円】
- 富山県でのGX実現に向け、取組手引書の作成・配布など、事業者の先駆的な挑戦を支援【富山型GX推進事業 300万円】
- 脱炭素経営のモデル企業を育成するためのセミナーや検討会の実施、再エネ・省エネ設備導入支援【脱炭素化モデル中小業育成事業 4,665万円】
- サーキュラーエコミー(循環経済)推進に向けた普及啓発や県内ネットワーク形成を支援する専任コーディネーターの配置等【ものづくり産業サーキュラーエコミー推進事業 1,600万円】
- 県の各種計画にSDGsの理念の記載、目標を設定

ロードマップ

取組内容

- 県内の多様なステークホルダーへのSDGsの取組み支援、取組み団体、事業者間の連携強化
- 県の各種計画策定、改定時にSDGsの理念を反映(原則:政策目標と17の目的との関連を記載)

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体	
SDGs取組み支援 ステークホルダー の連携強化 脱炭素に向けた 取組みの推進 県計画、施策への 反映	支援補助事業実施、フォーラム等の開催、未来都市計画に沿った施策の実施					取組支援の拡充(毎年度の予算で検討)	県、市町村、連絡協議会
	連絡協議会の開催、連絡協議会加盟団体の取組みの連携						
		温暖化ストップ計画の推進 再エネビジョン改定検討 研究会設置、セミナー開催	富山県カーボンニュートラル戦略を策定	カーボンニュートラル実現に向けた取組みを推進			県、市町村、県民、事業者
	サーキュラーエコミーの推進/グリーン等成長分野への参入等を促進						
計画策定、改定時にSDGsの理念を反映、施策目標と17の目標との関連を記載(随時)						県	

具体策：3 女性・民間人材の積極的な登用による多様性の推進

67 ⑥ 「とやまワカモノ・サミット(仮称)」を毎年開催、県内の10代・20代の若者と知事の意見交換の機会を創出

現状と課題(R6.2月現在)

現 状

- 県内10代・20代の若者と知事の意見交換の機会を創出するとともに、若者の発想やアイデアの実現を支援するため、「とやまワカモノ・サミット」を開催

課 題

- 若者の斬新な発想やアイデアの意見発表(プレゼンテーション)など、自由な発想が生まれやすい意見交換会等の手法の検討

R5年度までの取組

- 若者を対象とした、富山県の魅力向上などに向けたアイデアプランの発表コンテスト「とやまワカモノ・サミット」を開催、審査会において、若者と知事が意見交換
- 提案された意見を次年度の予算に反映するなど、実現を支援

【R③ 発表者6組、R④ 発表者8組、R⑤ 発表者7組 模擬店舗出店4店舗】

R6年度の取組

- 若者を対象とした、富山県の魅力向上などに向けたアイデアプランの発表コンテスト「とやまワカモノ・サミット」を開催、審査会において、若者と知事が意見交換
【富山県成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」開催事業 2,400万円の内数】
- 提案された意見を令和7年度の予算に反映するなど、実現を支援

ロードマップ

取組内容

- 多くの若者からの斬新な意見を聴取できる意見交換会の開催
- 提案された意見を次年度の予算に反映するなど、実現を支援

	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	取組主体
「とやまワカモノ・サミット」の開催		サミット開催 (12/19)	サミット開催 (10/16)	サミット開催 (8/6)	サミット開催	県
若者からの提案の施策への反映など、実現の支援			予算反映など、 実現を支援	予算反映など、 実現を支援	予算反映など、 実現を支援	県、市町村、 民間事業者